

Powered by GYOSEKI

Partners

Title Partner Point72

Media Partner Forbes JAPAN

ルールと規定

ご不明な点がございましたら、contact@gyoseki.com へご連絡ください。

更新日 2026/10/28

Gyoseki Competitionとは

目的：

1. 金融リテラシーを向上させること
2. ファンダメンタル・アナリストとして、実践経験を得ること

概要：

金融、コンサル、CFOやIR、起業などを目指す学生が、企業分析を通じて競い合う実践型の教育プログラムです。参加者は、プロの投資家や業界専門家による勉強会で学びながら、実在する企業の事業や競争環境、財務情報を分析し、将来の業績や企業価値について自らの見解を構築します。

言語や国籍、所在地の壁を越え、誰もが平等に実力を発揮できる大会を目指しています

大会パートナー企業およびご後援団体

TITLE PARTNER

Point72

MEDIA PARTNER

Forbes JAPAN

OFFICIAL PARTNERS

BlackRock

FORTRESS

PRONEXUS 株式会社プロネクサス

東洋経済新報社

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

SUPPORTERS

J-FLEC

東京都

文部科学省

JSDA 日本証券業協会 Japan Securities Dealers Association

平和不動産

学生へのメリット

ファンダメンタル分析を実践

プロフェッショナル向けのデータやツールを活用し、プロフェッショナルからプロセスを学び、プロフェッショナルと同じ条件で分析を実践

交流機会

パートナーのエグゼクティブとの交流会へのご招待

決勝進出チームの特典

決勝進出チームには決勝に向けて特別メンターシップを提供
上位5チームは賞金合計30万円

スケジュール

9月1日（火）	大会登録開始
10月28日（水）	大会開始
10月〜 12月	協賛企業による勉強会 ・業界地図：業界の構図について ・PLモデル ・POSデータの活用方法 ・オルタナデータの活用方法 ・ケーススタディ ・良い企業/悪い企業の見分け方 ・情報の伝え方　等
1月3日（日）	提出期限（23:59 JST）
2月中旬	予選通過チーム発表
2月下旬	決勝進出チーム発表
2月下旬	上位チームのプレゼン準備・特別メンターシップ
3月12日（金）	**メインイベント（決勝）**

協賛企業による勉強会

日付	題名	想定企業	内容	開催形態
10/28 18:00	定性分析	Gyoseki	サイゼリヤを題材に、収益構造や市場環境など、定性分析の基礎を学びます。	オンライン
11/4 18:30	決算情報を投資にどう活かすか	Point72	Point72 Academyの講師とともに、投資プロセスで財務データを活用する方法を学びます。	ハイブリッド
11/11 17:00	ケーススタディ	Fortress	Fortressの投資プロフェッショナルとともに、実際の投資事例を掘り下げます。	ハイブリッド
11/25 17:00	定量分析　基礎	Pronexus	プロネクサスとともに、業績を左右する要因の分解、データ収集、財務モデルの構築について学びます。	オンライン
12/2 17:00	Good Communication	BlackRock	ブラックロックのポートフォリオマネジャーとともに、要点を明確かつ簡潔に伝える方法を学びます。	オンライン
12/3 18:00	業界地図	東洋経済	東洋経済『業界地図』の編集長とともに、業界の構造や競合企業について理解を深めます。	ハイブリッド
12/9 17:00	オルタナティブデータ分析	Nowcast	ナウキャストのカスタマーサクセスチームとともに、オルタナティブデータの入手方法と活用方法を学びます。	オンライン
12/11 17:00	銘柄勉強会	UBS	UBSのアナリストとともに、課題として指定された企業を分析します。	ハイブリッド
12/16 18:00	定量分析　応用/総括	Gyoseki	定性分析で得た知見を活用し、自分なりの見解を反映した業績予想を作成します。また、これまでの講義を振り返り、効果的な企業分析に必要な要素を確認します。	オンライン

※一部変更になる可能性があります

参加者

参加条件：

対象： 大学生・大学院生 (MBA含む)

国・国籍：制約無し

チーム人数： 1~3名

参加費： 無料

参加方法：

レポート、財務モデル、動画はGyosekiシステム上で提出

メイン・イベントは東京の会場で開催予定

ファイナリストは対面で出席必須

交通費は自己負担*

*関東圏外は一部負担（上限あり）

評価対象

題材の3銘柄のファンダメンタルズを分析

・業界や事業を分析し、業績およびガイダンスを予想

提出物

中間課題

・中間課題１：事業内容の特定　11/25〆
・中間課題２：PLモデルのデータ収集（穴埋め）12/16〆

本課題　27/1/3〆

本課題①：全3銘柄の今期実績・来期ガイダンスの営業利益・純利益を予想
本課題②：3銘柄のうち、いち銘柄を選び、以下の3つの項目を提出すること

✓ レポート： 分析プロセス・結果 （字数制限：日本語 5,000字以内／英語 2,500単語以内）
✓ 財務モデル ：予想値の根拠 （PL予想サマリー・シートを含めること）
✓ 動画： 予想の前提や結果をハイライト (3分未満)

提出言語：英語・日本語、どちらでも可
提出方法：Gyosekiシステム（無料）

評価基準

・課題提出の有無（前回ファイナリストは免除）
・業績予想の精度と分析のプロセス（次ページ参照）

*提出方法は後日お送りいたします

禁止事項

・金融商品取引法に抵触する行為（例：インサイダー情報を使用する）

・動画作成において、AIアバターを使用すること

*リサーチにAI使用は可能だが、独自性のない観点のレポートは評価しません。

提出物と期限（予選〜決勝）

ラウンド	予選・中間	敗者復活	決勝
提出日 & プレゼン日	2027年1月3日	2027年3月5日	メインイベント当日 2027年3月12日
結果通知日	2月中旬	2027年3月7日	メインイベント当日 2027年3月12日
提出物 & 審査	業績予想モデル レポート プレゼン動画	オンラインでの プレゼンテーション	メインイベントでの プレゼンテーション
通過チーム数	50チーム（予選通過者） 15チーム（中間通過者）	ファイナリスト6チーム以外の 9チーム中 2チーム	6チーム + 敗者復活 2チーム

一部変更になる可能性があります

審査プロセス

予想の精度・プロセスを審査

STEP 1
基礎講義・中間課題
全参加チーム
基礎を学び、
足並みを揃える

›

STEP 2
本課題の審査
上位 50 チーム
レポート・モデル・動画
を評価

›

STEP 3
準決勝
上位 15 チーム
更新版レポート・モデル
を評価

›

STEP 4
決勝
上位 6 チーム
＋
敗者復活 2 チーム
会場でプレゼンテーション

›

優勝
WINNER
業績予想精度と
総合力で決定

一部変更になる可能性があります

予選 通過基準

① 中間課題の提出有無

② 予想値の精度を基にした勝ち点のランキング上位順*

③ 動画評価を通過*

*② と ③ について詳細は次スライド以降をご参照ください。

①＋②＋③ の上位50チームが中間審査へ進出

予選 通過基準 ：勝ち点（予想値の精度）

各社の営業利益・純利益を予想し、実際の公表値との乖離に基づいて「勝ち点」を付与

順位

上位から点数を付与（右図参照）
予想値が同額の場合、早く入力した方を優先

対 コンセンサス

Gyosekiコンセンサスより近い場合 +5点

A = 絶対値(実績 – 予想値)
B = 絶対値(実績 – Gyosekiコンセンサス)
A < B → +5点

	営業利益	純利益
1位、2位	9pt	3.5pt
3〜5位	7pt	2.5pt
6〜10位	5pt	1.5pt
11〜20位	3pt	0.5pt

予選 通過基準 ：動画の評価（60%以上で通過）

項目	配分	評価ポイント
内容・論理性	40%	予想プロセスの説明 KPIに対する狭く深い分析 前提とその根拠、リスク、結論
独自性	40%	ユニークな調査方法・独自の視点 オルタナデータなどの活用
伝達力	20%	分かりやすい構成 適正な情報量で見やすいスライド 効果的にグラフやチャートを使用

中間審査 通過基準

①	②	③
レポート*	モデル*	動画*

*① ② ③ について詳細は次スライド以降をご参照ください。

①＋②＋③ の上位15チームのうち
6チームが決勝進出、9チームが敗者復活戦へ進出

中間審査 通過基準：レポートの評価

項目	配分	評価ポイント
業界分析	20%	業界についての分析（需給・その他） サプライヤーや顧客を含む主要プレイヤーの説明 長期的な構造や規制の変化
ビジネス分析	20%	事業モデルや収益構造の把握 戦略的ポジショニングと競合比較 中長期の戦略
業績予想	40%	主要な収益ドライバー 根拠やデータに基づいた予測前提 2027年度の期初ガイダンスの予想 ガイダンスやコンセンサスとの乖離
独自性	20%	ユニークな分析方法 独自の視点 シナリオ分析

中間審査 通過基準：モデルの評価

項目	配分	評価ポイント
基本的な構造	20%	PLの構造（売上、営業利益、純利益の予想） 主なBS・CF項目 マクロやセグメントデータ
粒度・詳細	40%	収益ドライバー（因数分解：数量・単価など） eol、Finder Pro、ナウキャストなどのデータ活用
精度・フォーマット	20%	数値・関数の正確性（エラーチェック含む） 実績：青字、関数：黒字、前提：緑字 再現性（データの出所など）
独自性	20%	独自の視点（一部「粒度・詳細」と被る） シナリオ分析（主な変数とその感応度）

中間審査 通過基準：動画の評価

項目	配分	評価ポイント
内容・論理性	40%	予想プロセスの説明 KPIに対する狭く深い分析 前提とその根拠、リスク、結論
独自性	40%	ユニークな調査方法・独自の視点 オルタナデータなどの活用
伝達力	20%	分かりやすい構成 適正な情報量で見やすいスライド 効果的にグラフやチャートを使用

敗者復活 評価基準：プレゼンテーションの評価

27/3/5　敗者復活戦の9チームはオンラインでのプレゼンテーション

- プレゼン 5分 ／ 質疑応答 5分
- プレゼン用のスライド 提出必須
- 英語（質疑は日本語も可能）
- 新しい決算情報を反映（アップデート）可能

レポートおよびモデルは予選・中間に使用した提出物になります。銘柄の変更はしないで下さい。

一部変更になる可能性があります

決勝 評価基準：プレゼン・レポート・モデルの評価

27/3/12　ファイナリスト6チームと敗者復活戦で勝ち残った2チームは都内の会場で最終プレゼンテーション

- プレゼン 7分 ／ 質疑応答 7分
- プレゼン用のスライド 提出必須
- 英語（質疑は日本語も可能）
- 事前準備に、プロフェッショナルから特別メンターシップあり
- 新しい決算情報を反映（アップデート）可能

レポートおよびモデルは予選・中間に使用した提出物になります。銘柄の変更はしないで下さい。

一部変更になる可能性があります

提出方法

課題提出の手順は登録後、Slackでお送りします。

提出自体はGyosekiシステム上で、1分以内で完了します。